

令和7年度第2回東京高輪病院地域協議会 議事要録

1. 日 時 令和8年2月26日(木) 16:00~16:50
2. 場 所 東京高輪病院4階会議室
3. 出席者 地域協議会委員 24名出席

(1) 開催挨拶 白土副院長

当院の機能を十分に発揮するためには、地域・行政・医師会の連携が非常に大切な要因である。この会を通じて情報を積極的に発信し皆さまからのさまざまなご意見ご要望をお聞きしたいと思っておりますので本日はどうぞよろしくお願いたします。

(2) 委員自己紹介：各委員より挨拶

(3) 議題

① 地域包括ケア病棟活動状況について

2025年3月~2025年12月までの病床稼働率と直接入院の受け入れ状況です。

病床稼働率は例年同様年末にかけて上昇している。直接入院は12月から年末年始のレスパイト入院他、他の病院からの転院もあった。地域包括ケア病棟では、認知症認定看護師による院内デイケアや、病棟看護師が主体となり病棟レクリエーションを週2回行っている。

各種専門治療を行っている患者様につきましては、引き続き地域連携室と協力し相談の上入院の受け入れをしている。ぜひ地域の皆さまに入院のご相談を頂きたい。

② 救急受け入れ状況について

R7.1からR8.1の救急搬送が月平均117.7件、救急搬送以外は104.4件だった。昨年1月と比較すると救急車については月34件、救急搬送以外は月19.8件の減少となっている。年間を通じて減少傾向となっている。近隣医療機関で救急の受入れを強化しており、五反田、目黒方面からの救急要請が減少している。昨年のコロナの受入れ数が少ないことが要因となっている。時間外入院患者数推移は救急搬送後の入院患者数が大部分を占めている。年間を通じて変わらないが、今年度は救急車からの入院については月40~60件程となっている。昨年は7・12・1月は多くなっている。

③ 診療連携の状況について

連携協定7病院から転院相談は退院調整目的を主とした地域包括ケア病棟への依頼が多い傾向にある。今年度1月末までの相談件数は急性期65件、包括は133件だった。そのうち包括ケア病棟入院の割合は30%程だった。全体としては7病院中、済生会中央病院、昭和医科大学病院以外からの相談件数は年々減少している。今後当院で安全に受け入れられるように病院間及び院内での定期的な話し合いの場を続けていく。当院から転院をお願いした病院は、当院に無い診療科が多く患者様の希望も含まれている。転院先も東京都済生会中央病院、NTT東日本関東病院が多い傾向となっている。どの病院も迅速に対応してくださり、いままでの関係性の強さを感じている。また、当院は港区在宅療養後方支援病院として港区と協定締結している。在宅療養サポート入院通称「在サポ」と共同し定期的に会議に参加している。この度、患者・家族向けのリーフレットが完成し各所に配布している。また、診療所へは継続的な訪問活動に加え報告書等の手渡しを行い顔の見える関係性を構築している。今後も継続的に訪問活動を行い、円滑な受け入れの調整に努めていく。

④ 訪問看護ステーションについて

令和1年~6年までの推移では徐々に上昇傾向にある。令和7年4月~令和8年1月までの利用状況の患者数は4月53人、1月は65人で徐々に上昇傾向にある。

令和7年4月~1月までの訪問件数について、1ヶ月件数ではリハビリ月50~70件、訪問看護

(介護保険) 180~240件、医療訪問59~87件だった。訪問看護の対象者はお薬管理にお困りの方等で携わっており、何かありましたらご相談ください。

⑤ 市民公開講座等について

市民公開講座4月から9回1階待合ロビーにて平日(ミニ公開講座)と土曜開催している。

今回は3月7日(土)婦人科「HPVから子宮を守る」1階外来ホールにて開催する。

昨年12月18日頌栄女子学院によるクリスマスコンサートを開催。移動可能な入院患者をロビーにお連れした。昨年11月14日当院で勤務する有志の職員で院内コンサートを開催した。

今年も開催に向けて計画をしている。毎年秋に実施されている港区の合同防災訓練が昨年11月9日高松中学校で行われ当院からは水落師長が「災害時に命を守るために」について発表させていただいた。

意見交換 (◇=外部 ■=内部)

- ◇ 昨年度の高輪消防署の出動件数について速報があり、東京都消防庁全体として令和7年は931,817件前年比▲3,300件減少している。救急要請に関しては若干減っている。高輪消防署の救急隊出動件数は令和7年3,868件、昨年は4,000件超えており▲176件減少している。救急の受入れだけではなく、救急救命士の教育であったり救急隊のご指導も頂いており、非常に助かっている。今後ともよろしく願いいたします。
- コロナ患者の需要が変わってきた印象がある。昨年度の10月位から救急車の要請件数が減って来ている状態がいまでも続いおり、全体として少し減ってきている。病院の稼働率が下がっている。どの病院も救急患者さんを一所懸命取ろうとする対応になって来たのではないか。当院の応需率は90%前後で変化しないで来ており、出来るだけお断りしない方針でいるので今後ともよろしく願いいたします。
- マスコミ報道等を通して病院経営は非常に厳しく当院もまた同様の経営課題に直面している。実際に人件費、材料費の高騰が続く中での費用の削減の限界を感じている。経営を安定させるためには入院患者を増やすことであり一所懸命取り組んでいる。近隣医療機関からの紹介、救急搬送件数が増えていないことから、医師会の先生方の立場からご意見を聞きたい。
- ◇ マスコミでインフルエンザが流行っていると報道はあるが、当院では多くない。急性期疾患ばかり診ているところが多い。慢性疾患の患者が多く遠慮しているのではないか。入院が必要な患者が今までと比べて増減は変わらない。患者の希望を聞いて近くの医療機関へ紹介している。逆紹介を頂けると紹介しやすい。
- 逆紹介は二人主治医性として開業医と病院の役割分担を明確にしたい。
- 新型コロナウイルス感染、医師の働き方改革これに伴って保健所が病院に求めることに変化はあるのか。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症については、今年度は落ち着いた感じはするが、高齢者の中では重症の方はいる話は聞いている。どの病院も入院患者が減っており、それぞれの病院で会に参加すると救急患者で来院した場合は1泊入院して頂くことを徹底している所もある。国全体としては急性期を減らす考えがあり、それぞれの病院で行政の変化に応じきめ細かく対応している所もある。力を入れていかないと現状は難しいと思う。大きな病院が存続できるよう行動をしていきたいと思う。
- 入院患者を増やすために住民の方に入院(レスパイト)に繋がる相談等はあるか。
- ◇ 地域包括支援センターとしては、最近心強くお願いしてる所もあるが、ネグレクト・セルフネグレクトの件数が年々増えている。その際未受診の方が多いと感じている。その時に高輪病院に相談し受診に繋げている。治療した後に生活を整えるためにきちんと健康状態をはつきりさせ、その後のフォローをどうしていくか考える時間を頂けることが有難い。御家族に提案しても抱え込む家族が多く感じる。
- コロナなのか家族関係の変化があり介入が病棟側でも難しいと感じる。退院先に関しても自宅以外の選択、2階に住居を構え構造上1階に移すことができないケースがある。

- ◇ 認知症患者のケアをどの程度病院で診てもらえるのか。
- 病院の中で神経内科が認知症の診療に関わっており、外来通院でレクリエーションの参加は行っていない。デイケアに関しては病院は直接関わっていない。診療に関して病状が今までと明らかに変わっている時は外来診療へ行って頂きたい。
- ◇ 現在港区の人口は27万人、65歳以上の高齢者は約4万7千人（男性1万9千人、女性2万7千人）、高齢化率は17.2～17.3%。23区の中でも中心部ではない高齢化率は24%になっている。港区の高齢者約4万7千人のうち約2万7千人が後期高齢者（75歳以上）、4万7千人のうち約2万人が65～74歳、前期高齢者からすると3割増ぐらいの人口構造になっている。また、住民基本台帳上の単身世帯は約4万7千人のうち約1万9千400人でこのうち男性が5千800人、女性が1万3千500人であり女性の単身が多い。民生委員の皆様と協力しながら訪問調査をしているが、調査上8千200人ぐらいが一人暮らしをしている。実は年々調査の結果実態を把握する数字が減っている。民生委員の意見はセキュリティの高い集合住宅が多く中々訪問が出来ず接触ができない。また、表札が無く訪問しても特定できないこともある。訪問看護事業所も同じ問題を抱えている。高齢者における都心部の課題である。マスコミによるおひとり様の終活、身元保証について昨年12月に港区社会福祉協議会で相談窓口を開設したので、病院と連携して進めたい。

(4) 閉会挨拶 山本院長

港区の数字の情報を頂き、当院は元々高齢者が多く社会的背景の問題が年々増えている。今まで病院は治すことを提供していたが、これからは治し支える病院が必要。高齢者救急は積極的に受け入れしており地域密着型の病院として、地域医療構想2040に見据えた地域医療構想と来年度の診療報酬改定では病院機能を今までと変わっていかなくてはならないと強く感じている。地域密着型の病院で来る患者は、出来るだけすべてお受けし丁寧な診療を行い続けて参りますので、今後ご支援のほどよろしくお願いたします。本日はお集まりいただきましてありがとうございました。

○次回開催日時について

- ・次回は令和8年10月1日 木曜日 16:30 開催を予定